

# 社会科教育学ぶ鳴教大院生

# 小学校教材用 DVDを作成

## 四国巡礼、藍など6種

鳴門教育大学院で社会科教育を学ぶ院生たちが、小学校の社会科教材用のDVD六種類を作った。四国巡礼や藍づくりなど徳島県にちなんだテーマを通し、児童が社会を見る目を養える内容。DVD教材は希望者に無料配布することにしており、院生たちは「知的好奇心を引き出せるよう工夫したので、授業や家庭で活用してほしい」とPRしている。



社会科のDVD教材をPRする院生たちと草原准教授(左上)＝鳴門教育大

作成したのは松尾健太さん(三から院生十二人。六種類のタイトルは、巡礼の目的を歴史的に考える「巡礼って何たる?」、商品作物の栽培の意味を教える「藍づくりがもたらしたもの」などでそれぞれ十五分程度。グラフや言葉ができるだけ簡単にし、キャラクターと一緒に課題を探求させることで、児童が楽しく学べるようにした。

「明石海峡大橋が変えたもの」では、明石海峡大橋の開通が徳島にもたらした光と影を紹介。橋以外のインフラ整備の例も取り上げるため、高速道の整備が進んだ島根県や鉄道が発達した滋賀県を取材

## 希望者に無料配布

した。松尾さんは「試行錯誤して映像を完成させたことで、講義で学んだ内容を具体的に指導にどう生かせばいいかが理解できた」と言う。

DVD教材の作成は、授業力強化を目指す大学院の授業「教育実践研究」の一環。県内外の三小学校の授業で使用してもらったところ、徳島市の津田小は「特産品って何たる?」を試聴後に「これを徳島市の特産品を探せ」という授業を設けるなど、現場の教員にも好評だという。

担当した草原和博准教授は「地域教育への貢献もできれば」と話している。

DVD教材の問い合わせは教務課(電088(687)6126)、または草原准教授kusahara@naruto-u.ac.jp

「話」写真」を作る、十一 副読本はA4判、一三三とKONAIがびん。副